

お客様へ

- 施工は必ず専門業者へ依頼してください。
- 本取扱説明書は、大切に保管しておいてください。
- ご不明な点は、巻末に記載されている営業窓口へお問い合わせください。

施工業者様へ

- 施工前に本取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

1.はじめにお読みください(正しく安全に使用いただくために)

本製品は、防火区画貫通部耐火措置工法部材です。それ以外の用途には使用しないでください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があります。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷を負う可能性があります。

■お使いになる人や他の人へ危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。



警告

国土交通大臣認定書の仕様に基づき、正しく施工してください。
正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。



注意

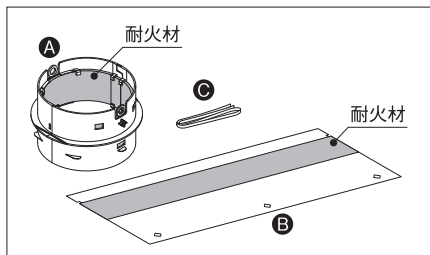
作業時は、作業用手袋などを着用してください。

お願い

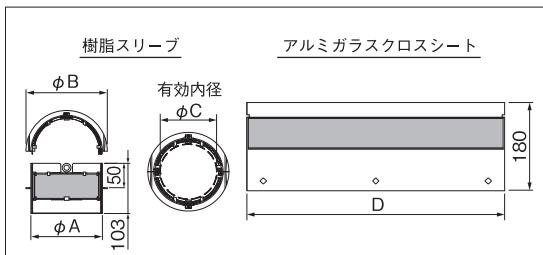
※下記が守られなかった場合、製品の想定する機能・性能が発揮されない可能性があります。

- サイズ選定の際には、貫通孔径、占積率、配管外径を共に満たすことを確認してください。
- 樹脂スリーブ、アルミガラスクロスシートに取り付けた耐火材は外さずに使用してください。
- アルミガラスクロスシートは、ケーブル・配管を設置した後に閉じてください。
- 区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。
不十分な場合、製品とケーブル・配管の間にすき間が生じて、耐火性能が発揮できなくなる可能性があります。
- 施工時および施工後に、製品を踏む、蹴る、上から物を落とすなどすると、破損につながります。
必要に応じて、囲いを設けるなどしてください。
- ケーブル・配管が挿通する際、製品に接触して破損させないように注意してください。
- 低温での施工時は、樹脂スリーブの落下や過度な変形をさせないように注意してください。
- 製品保管時および施工時は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。

2.セット明細(各部名称)



3.製品仕様



■寸法表

(単位:mm)

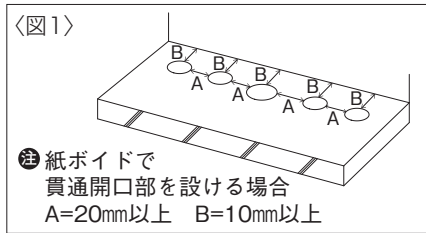
| 型番 | 適用貫通孔径 | φA | φB | φC | D |
|---------|-----------|-----|-----|-----|-----|
| IKX-100 | φ100~φ106 | 94 | 114 | 72 | 366 |
| IKX-125 | φ125~φ132 | 120 | 140 | 98 | 446 |
| IKX-150 | φ150~φ157 | 145 | 165 | 123 | 526 |

| 記号 | 部品名 | 数量 |
|----|----------------------|----|
| A | 樹脂スリーブ(耐火材付き) | 1組 |
| B | アルミガラスクロスシート(耐火材付き) | 1枚 |
| C | 固定材 | 1本 |
| — | 取扱説明書(本書) | 1枚 |
| — | 国土交通大臣認定品表示シール | 1枚 |
| — | ケーブル防火区画貫通部措置工法表示シール | 1枚 |

4. 施工手順

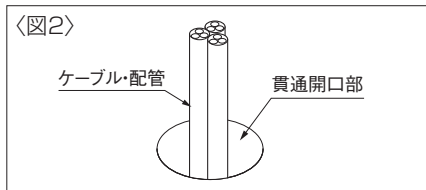
1. 貫通開口部の設定

認定書を確認のうえ、ケーブル・配管サイズ、占積率などを考慮して、貫通開口部(丸穴)を設けてください。〈図1〉



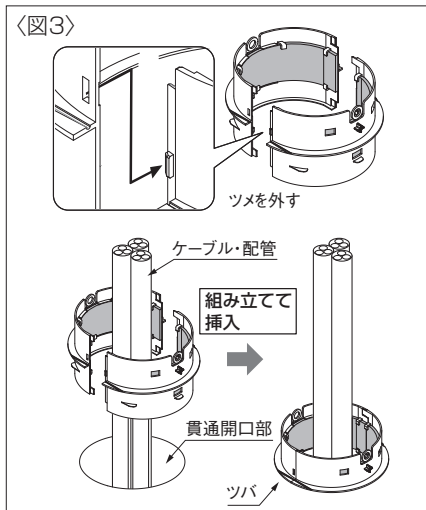
2. ケーブル・配管の設置

ケーブル・配管を設置してください。〈図2〉



3. 樹脂スリーブの設置

樹脂スリーブを分割させ、貫通しているケーブル・配管を挟んで、樹脂スリーブ同士を組み立て、貫通開口部に挿入してください。
その際、ツバの外側から開口が見えないように設置してください。〈図3〉

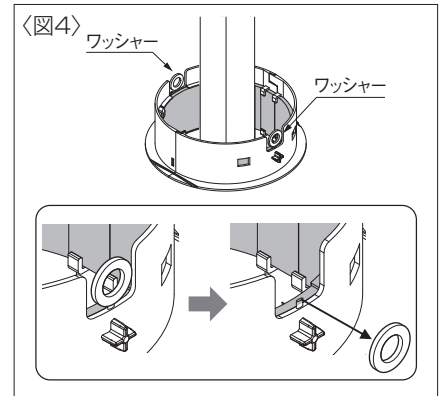


④ 樹脂スリーブ分割時に、耐火材同士が密着している場合があります。その際は丁寧に離してください。

④ 樹脂スリーブが床から浮きあがっていないか確認してください。

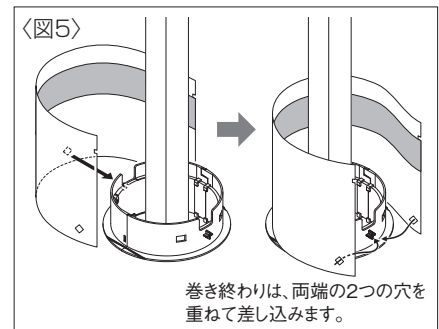
4. ワッシャーの取り外し

樹脂スリーブに付属しているワッシャー(2箇所)をハサミなどで切り離してください。切り離れたワッシャーは手順6で使います。〈図4〉



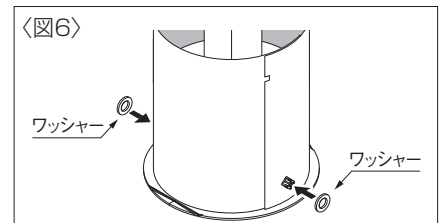
5. アルミガラスクロスシートの巻き付け

アルミガラスクロスシートの穴を樹脂スリーブの突起部(2箇所)に差し込みます。〈図5〉



6. アルミガラスクロスシートの留め付け

4で切り離れたワッシャーを、アルミガラスクロスシートの上から、樹脂スリーブの突起部(2箇所)の奥まで押し込み、アルミガラスクロスシートを留め付けてください。〈図6〉



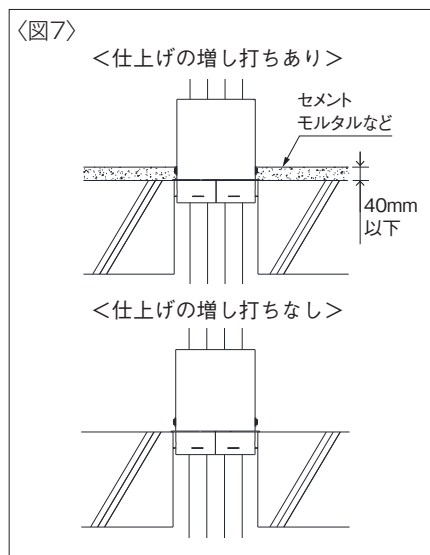
④ ケーブル・配管を設置するまで、アルミガラスクロスシートは閉じないでください。

④ ワッシャーを紛失した場合は、市販の金属ワッシャーM10を使用してください。

7.セメントモルタルなどによる仕上げ

床上面にセメントモルタルなどを用いて、仕上げの増し打ちをしてください。

※増し打ちがない場合でも使用できます。〈図7〉



① 製品が、仕上げの増し打ちを行う際のボイド管代わりになります。(最大40mmまで増し打ち可能)

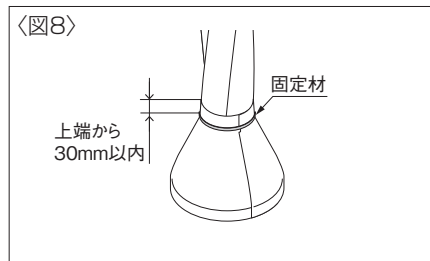
② 製品が床から浮き上がっていないか確認してください。

③ 増し打ちのセメントモルタルなどが貫通部内に漏れないように、樹脂スリーブのツバ部と床の間にすき間がある場合は、セメントモルタルなどですき間を埋めてください。

8.アルミガラスクロスシートの固定

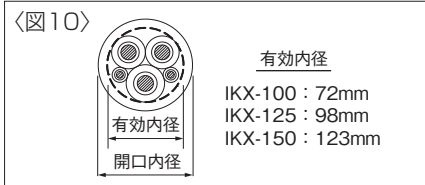
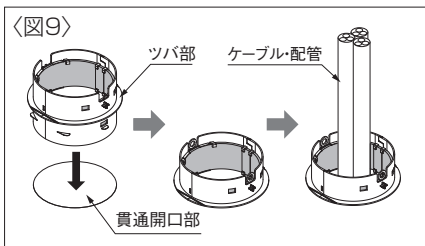
固定材を、アルミガラスクロスシート上端から30mmの間(耐火材がない部分)で、ケーブル・配管部に留めてください。

その際、配管とアルミガラスクロスシートの間にすき間がないようにしてください。



※樹脂スリーブの設置後にケーブル・配管を開口に貫通させる場合

組み立てた樹脂スリーブを貫通開口部に挿入し、ツバの外側から開口が見えないように設置したあと、ケーブル・配管を設置してください。〈図9〉
施工するケーブル・配管の束は、〈図10〉の有効内径内に収まるようにしてください。
ケーブル・配管設置後の手順は、左記の手順4～8となります。



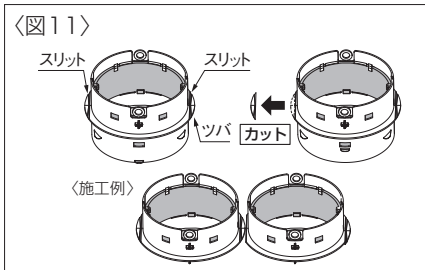
④ 樹脂スリーブが床から浮き上がっていないか確認してください。

⑤ ケーブル・配管を設置するまで、アルミガラスクロスシートは閉じないでください。

※ツバのカットについて

貫通開口部間が近く、樹脂スリーブのツバが重なる場合、スリットに沿って、ツバをハサミなどでカットしてください。

また、カット後も外側から開口内が見えないように確認してください。〈図3〉



⑥ 樹脂スリーブのツバを両側カットする場合は、必要に応じて行ってください。

⑦ スリット以外のツバはカットしないでください。

5.適用範囲概要(詳細は認定書を確認してください)

※樹脂スリーブの有効内径を確認のうえ、製品サイズを選定してください。

(単位:mm)

| | | | | | |
|------------------------|----------------------------------|---|--------------------|---------------------|-------------------|
| 床構造 (国土交通大臣が認定したもの) | | 床 (ALC・コンクリート) | | | |
| 国土交通大臣認定番号 | | PS060FL-1231 | | | |
| 床 厚さ | | 100以上 | | | |
| 開口部 | 形状 | 円形 (φ157以下、ポリエチレン管の場合 φ132以下)※1 | | | |
| 占積率 | 開口面積に対する配管・ケーブルの 断面積の総合計の割合 | 64.0% 以下 ※1 | | | |
| 製品サイズ | | IKX-100 (有効内径:φ72) | IKX-125 (有効内径:φ98) | IKX-150 (有効内径:φ123) | |
| 配管種類 | ケーブル | 総導体断面積 2558.4mm ² 以下、 1本当たり導体断面積250mm ² 以下 | | | |
| | 金属管 ※2,※3 | 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 | 50A(外径 φ60.5)以下 | 80A(外径 φ89.1)以下 | 100A(外径 φ114.3)以下 |
| | | 鋼管 | 50A(外径 φ60.5)以下 | | |
| | | ステンレス管 | 60A(外径 φ60.5)以下 | | |
| | 硬質ポリ塩化ビニル管 ※2 (VP、VU、HIVP、HT) | 50A(外径 φ60.0)以下 | 75A(外径 φ89.0)以下 | 100A(外径 φ114.0)以下 | |
| | 配水管ポリエチレン管 ※4 | 50A(外径 φ63.0)以下 | 65A(外径 φ75.0)以下 | - | |
| 合成樹脂製可とう電線管 | | 外径 φ45.5以下 (PF管) 外径 φ48.0以下 (CD管) | | | |

※1:貫通穴径、占積率を考慮して、配管サイズを選定してください。

※2:被覆材取り付けが可能な配管となります。被覆材とは、グラスウール(厚さ25mm以下、密度24kg/m³以上)を指します。

樹脂スリーブの有効内径を確認のうえ、被覆材を取り付ける配管サイズ、および製品サイズを選定してください。

※3:金属管とは、排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管(WSP042)、鋼管(JIS G 3442、JIS G 3452、JIS G 3454、JIS G 3455、JIS G 3456、JIS G 3458、JIS G 3460)、ステンレス管(JIS G 3447、JIS G 3448、JIS G 3459)を指します。

※4:ポリエチレン管の貫通穴径は、φ132以下になります。



因幡電機産業株式会社

産機カンパニー ハウジング統括部

西日本営業部 防災製品グループ

TEL:06-7711-4770

FAX:06-7711-4775

